

金山

Kanayama

誕生から未来へ

開催期間

平成26年 **3月11日** 火 ~ **5月6日** 休・火

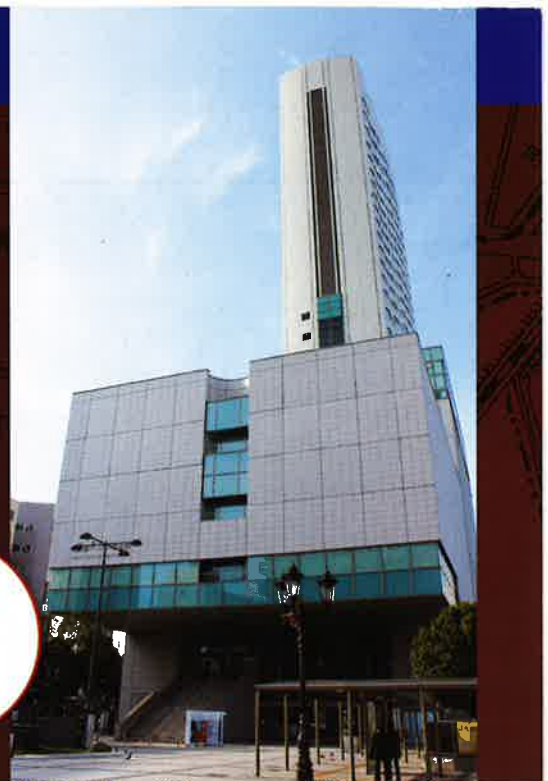
※月曜休館(祝日の場合は翌日)

火曜~木曜/10:00~18:00 金曜/10:00~20:00 土曜・日曜・祝日/10:00~17:00

開催場所

名古屋都市センター11階 まちづくり広場
名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル11階

入場
無料



古代より人が住みはじめて、
現在までの足跡をふり返るとともに
鉄道網とまちのうつりかわりをたどり
これからの金山を考える機会にしましょう。



金山 誕生から未来へ

金山地区は、名古屋市のほぼ中心に位置し、戦災復興計画において副都心として位置づけられ、金山総合駅の完成により、名古屋駅に次ぐ一大交通結節点として多くの乗降客でにぎわっています。古くは、縄文時代の集落に始まり生活の拠点となっており、この地から出土した陶器や鉄器から、優れた文化と技術の交流がみられました。近世、名古屋城の城下町と熱田の宮の宿を結ぶ美濃街道に接したほか、宮の宿から陸路で桑名に至る佐屋街道との分岐点となり、人の往来が増えていきました。

古代より人々の行きかう金山に、名古屋市のあらたな交流拠点づくりの第一歩として、金山南ビルが誕生してから15周年を迎えます。本企画展では、金山地区の変遷を歴史、鉄道、にぎわいの視点で振り返ります。また、これからの金山のまちづくりへ関心を抱く機会としていただきます。

I まちのはじまり

熱田台地に誕生した
古代から近世までの
遺跡をたどるパネルで紹介

見晴台考古資料館収蔵の
貴重な出土品をご覧ください。



「金山北灰釉」金山北遺跡(現在のアスナル金山)で出土した。美しい形と色をした古代の陶器。

II 鉄道とともに

各鉄道の整備から
金山総合駅完成までの
経過をパネルで紹介

各鉄道事業者より提供いただいた
写真資料と展示品をご覧ください。



地下鉄名城線金山駅が開業 市役所-金山間の昭和42年3月に開通、市電から地下鉄の時代へ。

III 楽しみとにぎわい

活気をもたらした
娯楽や商店街を
懐かしの写真で紹介

名古屋タイムスアーカイブス委員会提供の
貴重な写真をご覧ください。



金山体育館(現在の市民会館)では、大相撲やプロレス興行があり、多くの観客と熱気にあふれた。

◆展示について

歴史・鉄道・にぎわいをテーマに金山に関する写真、出土品などを紹介します。また、昭和から平成へ半世紀の変化をみる「航空写真でみる金山」、子どもたちの描く金山の未来「つくってみたいこんなまち」絵画作品を展示します。

公益財団法人 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル内

TEL:052-678-2212 FAX:052-678-2210 URL:<http://www.nui.or.jp>

お車でお越しの方は、公共有料駐車場金山南駐車場をご利用ください。

